

お客様/報道関係者様各位

構造用集成材及び直交集成板（CLT）の環境製品宣言(エコリーフ/SuMPO EPD)取得を完了
— 銘建工業株式会社が構造用集成材 2 製品群の環境製品宣言を取得 —

銘建工業株式会社（本社：岡山県真庭市、代表取締役社長：中島浩一郎）は、2025年1月に非住宅建築物向けが主体の大断面集成材、同3月末に住宅向けが主体の小・中断面集成材の2製品群について、国際規格ISO 14025に基づく環境製品宣言/エコリーフを取得しました。

- ・ 直交集成板（CLT），2024年5月13日初版公開：<https://ecoleaf-label.jp/epd/1525>
- ・ 集成材（大断面工場製），2025年1月27日初版公開：<https://ecoleaf-label.jp/epd/2009>
- ・ 集成材（本社工場製），2025年4月3日初版公開：<https://ecoleaf-label.jp/epd/2237>

今回の取得により、当社で製造される全ての*構造用集成材及びCLT製品について、環境製品宣言/エコリーフ取得が完了し、建築用途や規模を問わず、全ての建築物において、当社製品採用時のホールライフカーボン及び環境負荷の算定が可能となります。（*耐火集成材等の複合材料製品を除く）



構造用集成材及び直交集成板（CLT）のエコリーフ/SuMPO EPD

銘建工業株式会社は、今後もグループ全体で環境負荷の削減、情報開示、持続可能な原材料調達に積極的に取り組むことで、日本における 2050 年のカーボンニュートラル達成及びビジネスと人権に配慮した社会の実現に向け、日々の企業活動においてより一層、透明性・信頼性の高い情報発信に努めてまいります。

エコリーフ(現：SuMPO EPD)について

エコリーフは、ISO で定められた LCA（ライフサイクルアセスメント）手法に基づいて算定された製品の環境負荷を評価、検証する第三者検証プログラムです。国内では、(一社)サステナブル経営推進機構 (SuMPO：さんぽ)が唯一の検証・登録機関となっており、国際的には EPD（Environment Product Declaration/環境製品宣言）と呼ばれています。欧米各国では、公共調達等において EPD を取得した製品の調達を優先することが推奨されており、LEED などのグリーンビルディング認証でも活用されています。

また、日本では IBECs（一社 住宅・建築 SDGs 推進センター）が主体となり、産官学の連携の下、開発された建築物ホールライフカーボン算定ツール（J-CAT）等において、今後取得された EPD の活用を行っていく事が表明されており、地方自治体においても、環境価値の高い建築物を認定する優遇制度において、EPD を取得した製品を評価対象とする取組が行われています。



<お問い合わせ先>

銘建工業株式会社 開発部 〒717-0013 岡山県真庭市勝山 1209 電話：0867-44-4880

お問い合わせフォーム：<https://www.meikenkogyo.com/contact/>

※お問い合わせ項目「その他」を選択して入力ください。